

診療放射線技師に求められる資格・研修 医療安全について

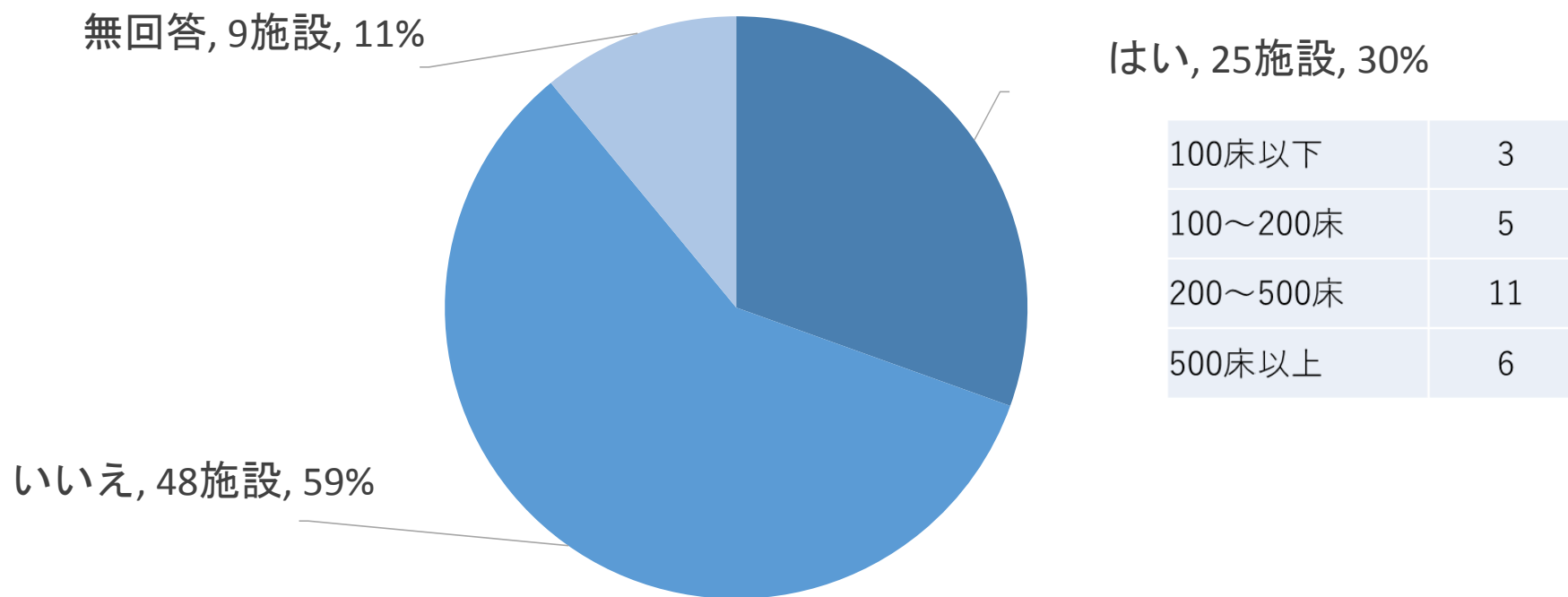
全国病院経営管理学会 診療放射線業務委員会委員
岩槻南病院 立澤 正浩

2017年3月10日（金）

アンケート質問項目

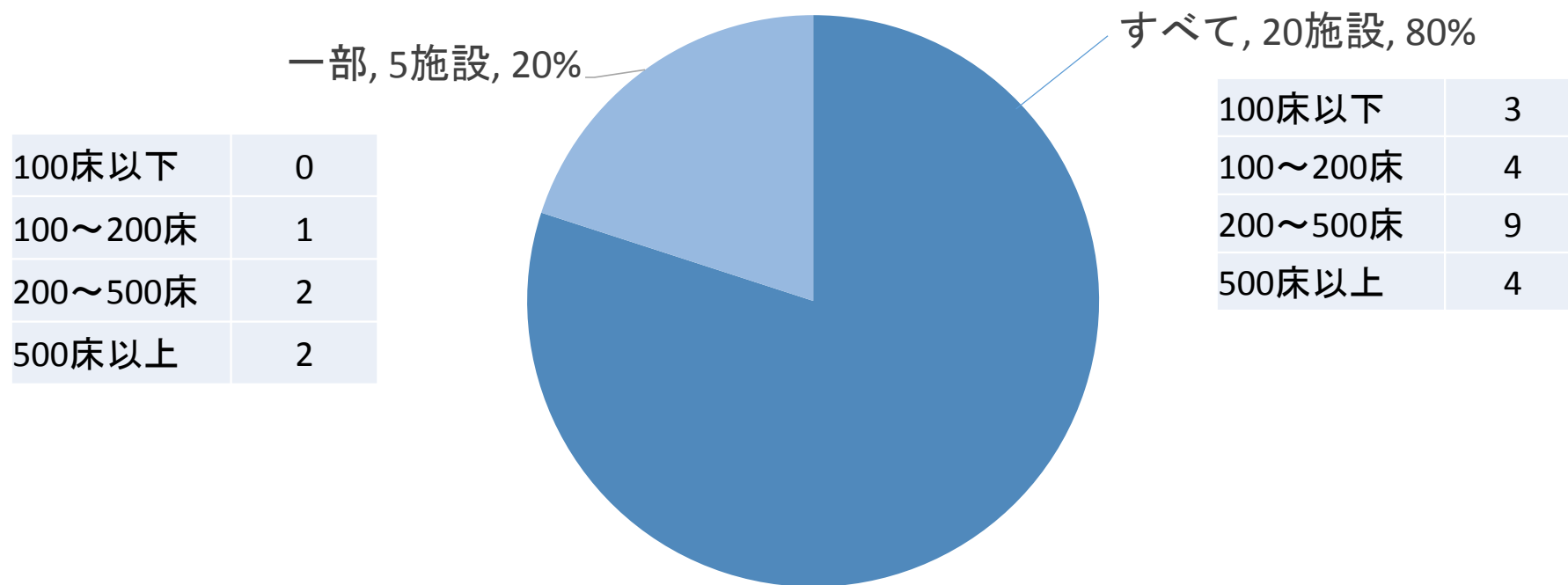
- 診療放射線技師が医療安全管理者としての要件を満たす研修を受けていますか
- 診療放射線技師が医療安全管理者として加算取得していますか
- 医療被ばく低減施設認定について
- 診療放射線技師が医療機器安全管理責任者に配置されていますか

診療放射線技師が医療安全管理者としての要件を満たす研修を受けていますか



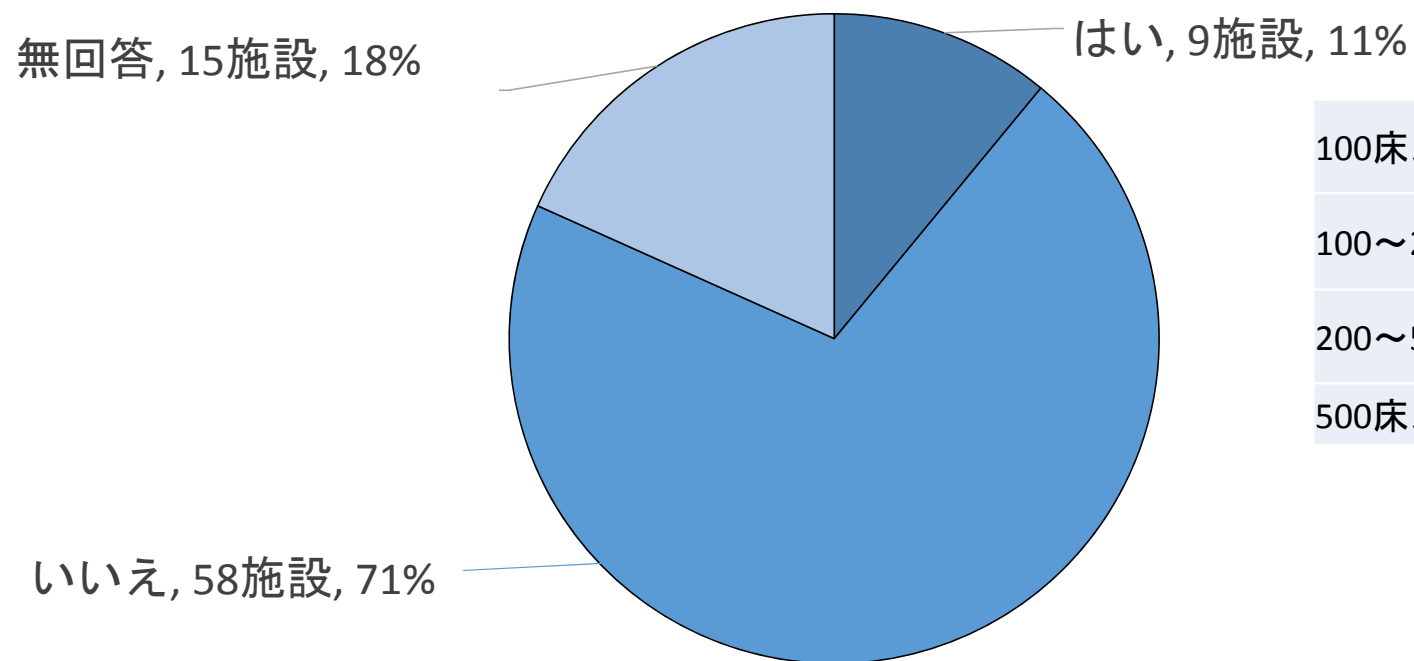
N = 82

はい と答えた施設での研修費用の支援について



N = 25

診療放射線技師が医療安全管理者として加算取得していますか

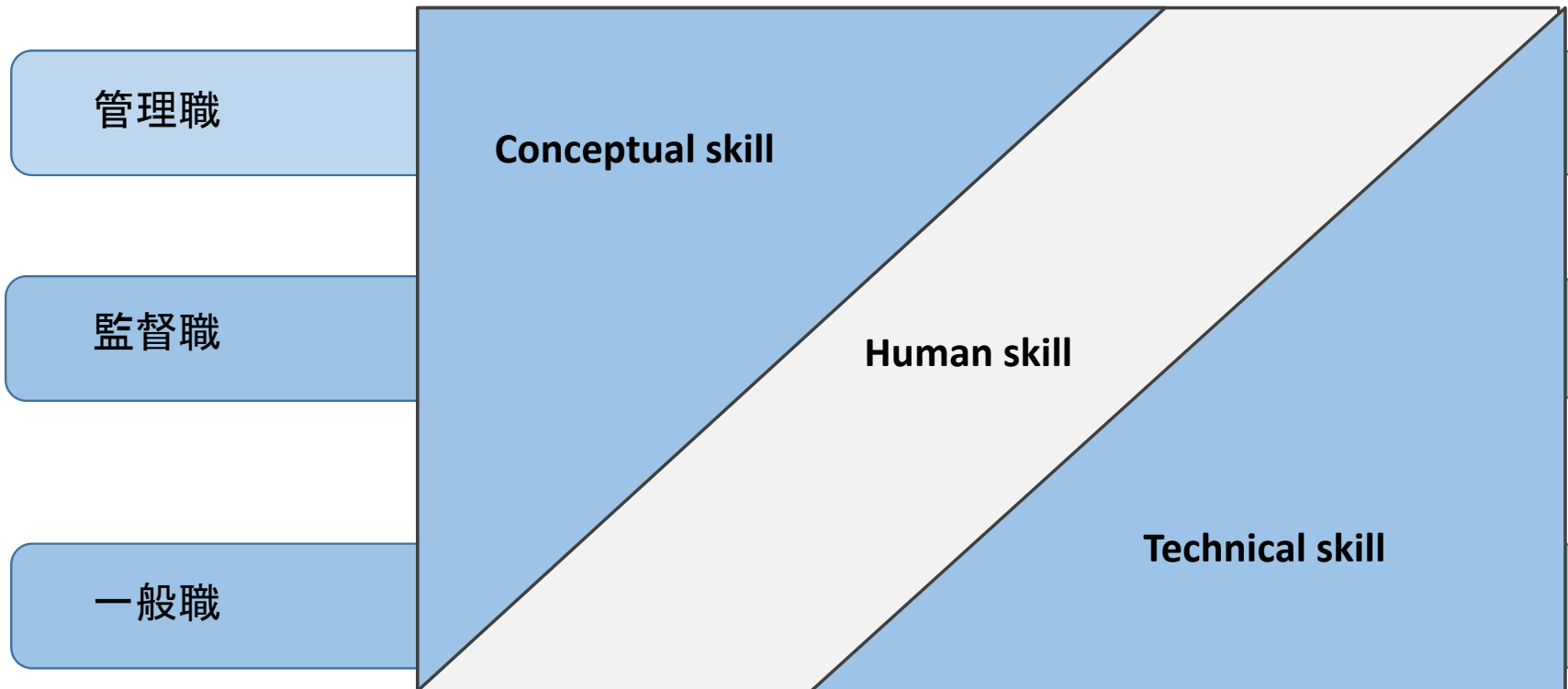


100床以下	3
100~200床	0
200~500床	4
500床以上	2

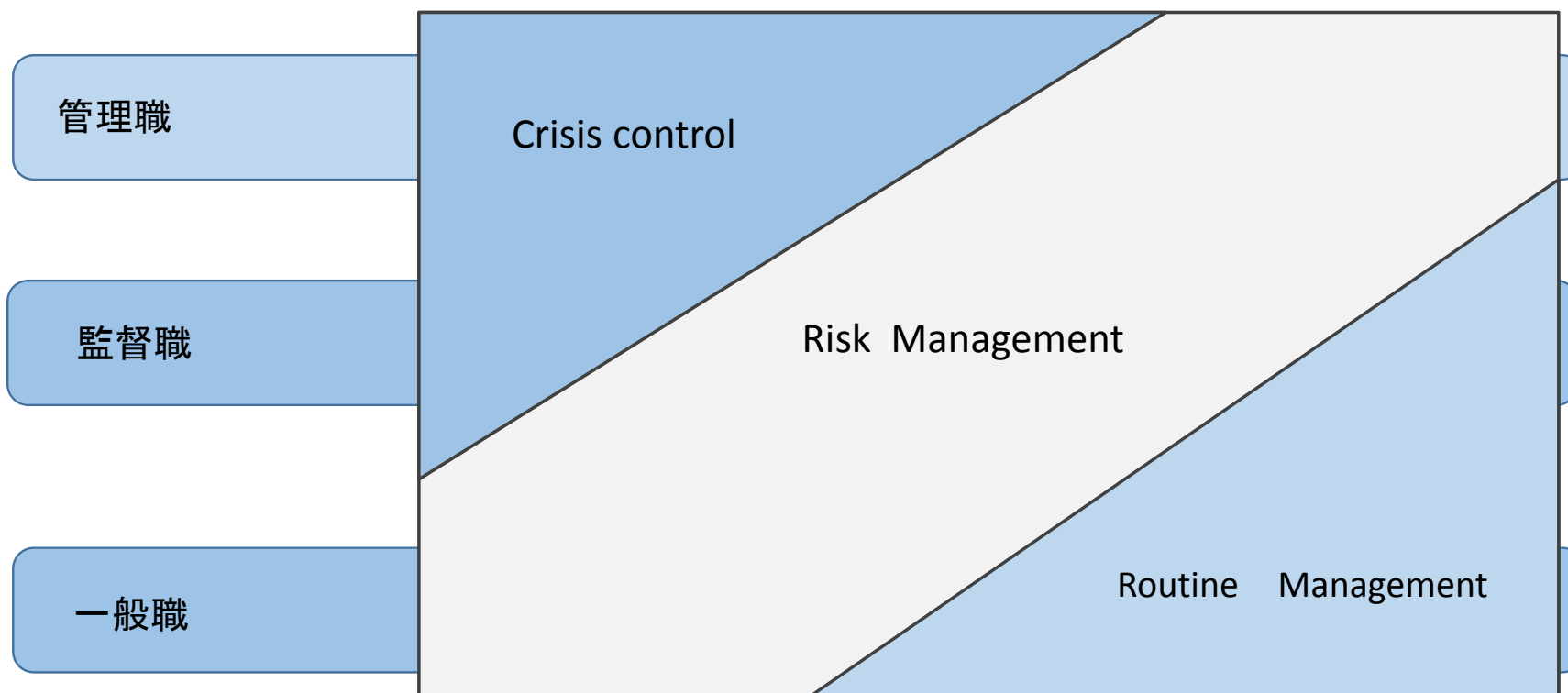
N = 82

階層毎に求められる知識

ハーバード大学 ロバートカッツ



カッツ教授の理論を参考にした医療安全の役割（私見）



Routine Management (危機の回避)

- **確かなルールに基づく手続き** 正確な撮影 装置の取り扱い マニュアルの遵守
- **臨床管理能力** 臨床の知識 同意書などの書類の確認 スループット
- **受理型の処理能力** 上司の指示に素直に従う 問題がある時には報告・相談できる。

Risk Management (危機の管理)

- **危機管理能力** マニュアルの整備 教育・訓練 (職域によって、受ける、企画、管理)
- **予測能力** エビデンスに基づいた科学的な推測
インシデントレポートの作成・分析・活用、KYTトレーニングなど
- **ノンテクニカルスキル**
CRM (cockpit resource management) → cockpit → crew → company
○チームマネジメント ○リーダーシップ ○ワークロードマネジメント
チームSTEPPSなど
○リーダーシップ ○状況モニター ○相互支援 ○コミュニケーション
- **クレーム等の対応** (職域によって、初期対応～重要事例対応)

Crisis control

(危機の克服)

- リスクの発生頻度を減少

インシデントレポートの運用推進
その他トレーニングの企画・運営

- もしも、のときの決断型予知能力

経験と広い社会的視野に立った推測で、
危険を回避する。

- 事後管理能力

問題が発生した時の対応、被害を最小限にする。
マスコミ対応 家族への対応
ダメージから回復して、プラスに転じさせる。

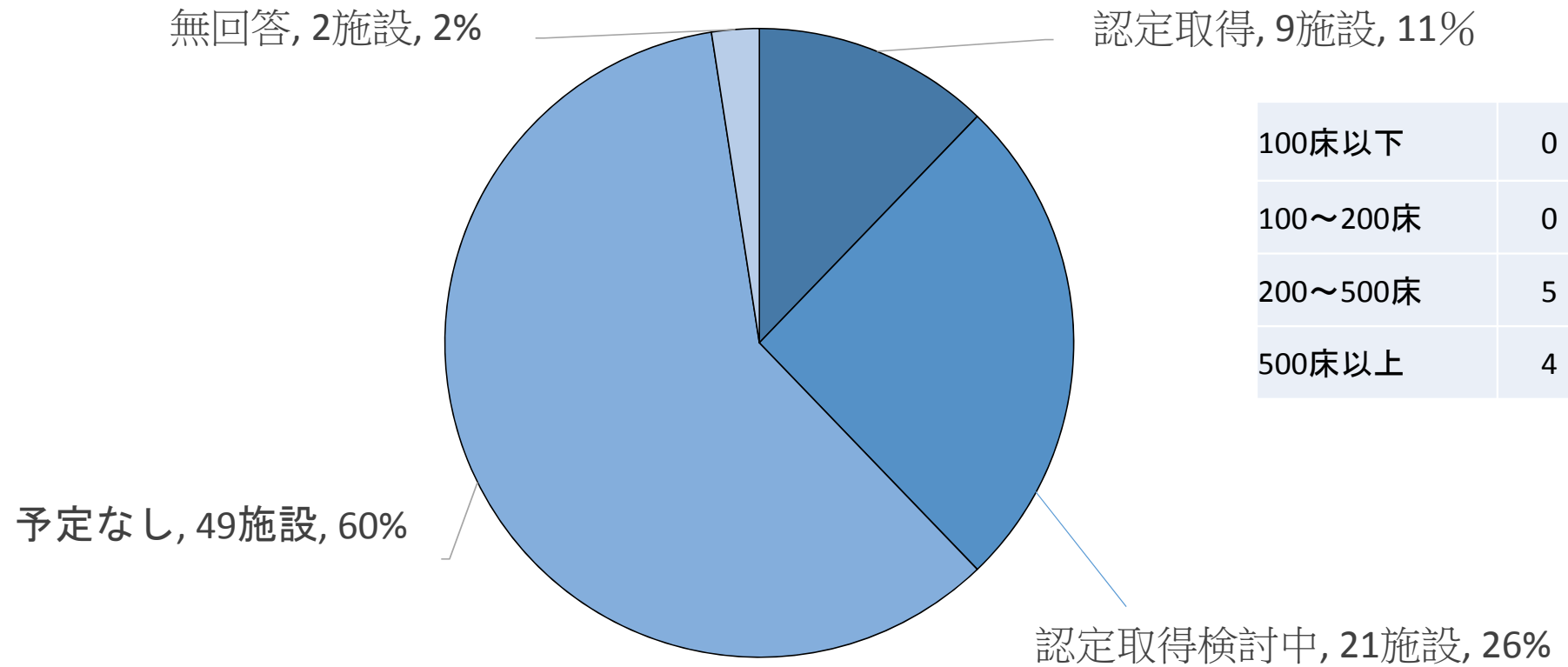
- 訴訟・医療事故調査制度への対応

このように、総合的なリスク管理は幅広い知識が必要である。医療安全管理者講習は40時間以上のカリキュラムとなっており総合的なリスク管理を学ぶ上で非常に有用であることから、各施設の管理者の方には、ぜひ参加して頂きたい。

実際に診療放射線技師が医療安全管理者として加算対象になっている施設は約10%であるように、この分野では看護師、薬剤師が対応しているのが現状である。ただし診療放射線技師は、検査を通して院内の幅広い部門と連携を取ること、医療機器にも精通していることなどから、医療安全管理者として院内の安全に貢献できると考えている。

- 1 医療安全対策加算1 85点 (専従)
- 2 医療安全対策加算2 35点 (専任)

医療被ばく低減施設認定について



N = 82

日本診療放射線技師会がおこなっている被ばく低減施設認定については、アンケート結果で、11%の施設が取得し、26%の施設が検討中であった。検討中の理由は今回は設問に入れておらず、分からない。

しかし訪問審査料3万円（核医学含む施設8万円）、認定登録料2万円、更新料2万円などサーベイヤーが訪問して審査を行うため、それなりの費用が掛かるが、診療報酬に反映されない、なども原因の一つではないかと考える。

また、日本診療放射線技師会に参加していないと取得できない仕組みになっており全ての施設が取り組めるような体制が望まれる。

全国で現在68施設が認定されている。（2017年2月現在）

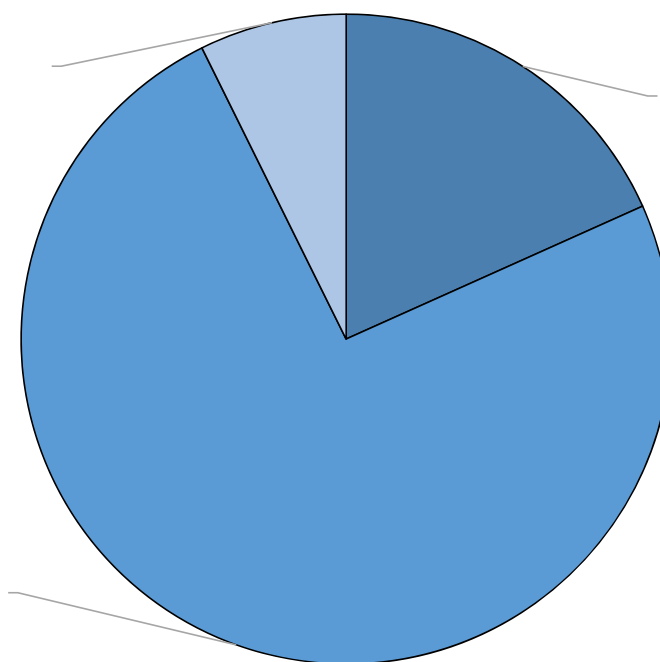
※IVR被爆低減推進認定施設という全国循環器撮影研究会が行っているIVR専門の取り組みもある。全国循環器撮影研究会に参加していることが必須要件。無料。現在62施設が認定されている。（2017年2月現在）

診療放射線技師が医療機器安全管理責任者に配置されていますか

無回答, 6施設, 7%

はい, 15施設, 18%

いいえ, 61施設, 75%



100床以下	3
100~200床	2
200~500床	7
500床以上	3

N = 82

診療放射線技師の医療機器安全管理者は18%の施設で配置されていた。
医療機器安全管理者はMEが中心となり対応している現状がある。

医療機器安全管理料

- 1 臨床工学技士が配置されている保険医療機関において、生命維持管理装置を用いて治療を行う場合（1月につき） 100点
- 2 放射線治療機器の保守管理、精度管理等の体制が整えられている保険医療機関において放射線治療計画を策定する場合（一連につき） 1,100点

CTやMRIなどに対しても、加算取得できるように法整備も含めて検討を希望する

最後に

リスクマネージメントは、トップダウンの指示命令系統と情報共有が大切とされており、テクニカルスキル、ノンテクニカルスキルなど幅広い知識が各職域で必要となるため積極的な研修参加が必要であると考えます。

以上

ご清聴ありがとうございました。